

アンテロ リソースズ (AR)

【セクター】 エネルギー

【市場】 NYSE

【企業概要】

コロラド州に本社を持つ独立系のエネルギー会社です。ウエストバージニア州とオハイオ州にまたがるアパラチア盆地において天然ガス、天然ガス液、石油の探鉱・開発・生産を行っています。ウエストバージニア州北部のマーセラスシェール、オハイオ州東部のユティカシェールに権益を持っています。また、収集や水処理などの中流事業を行うアンテロ ミッドストリーム（NY証券取引所に上場しています）の株式29.1%を保有しています（2021年12月末）。従業員数は519人です（2021年12月末）。

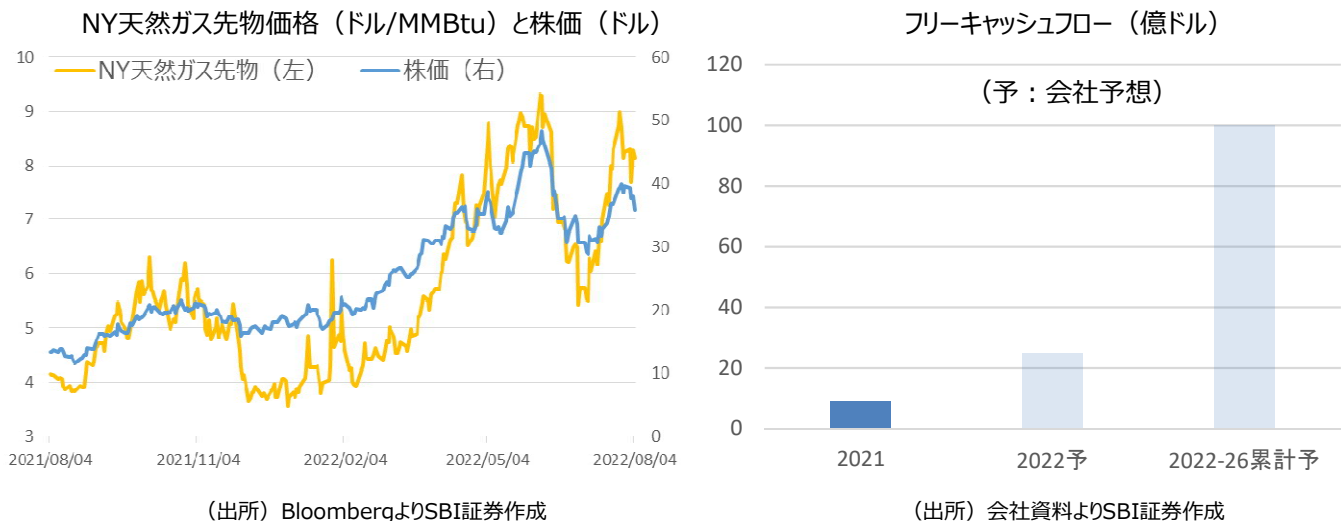
【業績】（単位：売上高、純利益は百万ドル、EPS、1株配当、BPSはドル、ROE、自己資本比率は%、純利益、EPSは調整後ベース）

決算期	売上高	純利益	EPS	1株配当	BPS	ROE	自己資本比率
20.12期	4,215	-206	-0.76	0.00	21.5	-19.9	46.3
21.12期	5,368	564	1.83	0.00	18.3	-3.2	43.7
22.12期（予）	7,114	2,173	6.80	4.87	22.1	37.7	-

※EPS：1株当たり利益、BPS：1株当たり純資産、ROE：株主資本利益率

（出所）BloombergのデータよりSBI証券作成

【主要指標】



【会社の見方】

米国における天然ガス液生産で2番目の規模、また、天然ガス生産では5番目の規模を誇る会社です。会社側はビジネス上の戦略の1つとしてバランスシート強化を掲げており、負債を2019年12月末の37.6億ドルから2022年6月末には15.8億ドルまで削減しています。フリーキャッシュフローについては会社側は2022年に25億ドル強を見込んでいます。また、2022年-26年までの累計フリーキャッシュフローは100億ドル強を見込んでいます。

【見通し・注目点】

2022年4-6月期（第2四半期）は売上高とEPSともに市場予想を上回る好決算となりました。主力の天然ガスの平均価格（ヘッジ前）は前年同期比2.5倍になりました。マイケル・ケネディーCFOは「第2四半期は2.5億ドルの自社株買いによって資本還元を加速させ、債務も削減した。2022年の株主還元についてはフリーキャッシュフローの25-50%の目標に対してその上限を見込んでいる」とコメントしています。なお、NY天然ガス先物価格が1年前と比較して高止まりを続けており、株価との連動傾向もみられることから株価支援材料として引き続き注目されそうです。アナリストのコンセンサス目標株価は49.33ドルです（8月4日終値35.75ドル）。予想PERは約5倍です。

本レポートに関するご注意事項

- ・本資料は投資判断の参考となる情報提供のみを目的として作成されたもので、個々の投資家の特定の投資目的、または要望を考慮しているものではありません。投資に関する最終決定は投資家ご自身の判断と責任でなされるようお願いいたします。万一、本資料に基づいてお客様が損害を被ったとしても当社及び情報発信元は一切その責任を負うものではありません。
- ・本資料は著作権によって保護されており、無断で転用、複製又は販売等を行うことは固く禁じます。本資料の内容は作成時点のものであり、信頼できると判断した情報源からの情報に基づいて作成したのですが、正確性、完全性を保証するものではありません。本資料に記載の情報、意見等は予告なく変更される可能性があります。

手数料及びリスク情報等

- ・SBI証券で取り扱っている商品等へのご投資には、各商品毎に所定の手数料や必要経費等をご負担いただく場合があります。また、各商品等は価格の変動等により損失が生じるおそれがあります(信用取引、先物・オプション取引、外国為替保証金取引、取引所CFD(くりっく株365)では差し入れた保証金・証拠金(元本)を上回る損失が生じるおそれがあります)。各商品等への投資に際してご負担いただく手数料等及びリスクは商品毎に異なりますので、詳細につきましては、SBI証券WEBサイトの当該商品等のページ、金融商品取引法に係る表示又は契約締結前交付書面等をご確認ください。